

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 1960年代から2010年代にかけてのオーストラリアにおける移民の動向について、1961年には約178万人だった移民の総数が2016年には約691万人にまで増加しました。この期間における出身地域別の構成変化として正しい記述はどれですか。（2024年

長野県公立入試 類似）

- かつて9割近くを占めていたヨーロッパ州からの割合が低下し、アジア州からの割合が最大となった。
- アジア州からの移民が急増した結果、ヨーロッパ州からの移民の「実数」は1961年時点よりも減少した。
- アフリカ州からの移民が急速に増加し、2016年には出身地域別で最大の割合を占めるようになった。
- ヨーロッパ州からの移民が依然として全体の9割以上を維持しており、移民の総数だけが増加した。

問2 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の高地において、寒冷な気候や険しい地形に適応した形態で古くから行われている、アルパカなどの家畜を育てる産業形態を選びなさい。（2021年 大阪公立入試 類似）

- 放牧
- 促成栽培
- 等高線耕作
- プランテーション

問3 オーストラリアが目指す多文化社会に向けた具体的な取り組みについて、先住民であるアボリジニへの対応や学校教育の状況を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- 先住民アボリジニの先住権（土地所有権）を認めるとともに、学校教育では日本語や中国語などの外国語学習を推奨している。
- 先住民アボリジニを特定の地域に強制的に隔離し、学校では英語以外の言語を使用することを禁止している。
- 先住民アボリジニに対してはヨーロッパの文化を受け入れる同化政策を継続し、外国語教育よりも自国の伝統文化のみを優先している。
- 先住民アボリジニの権利を制限する一方で、アジアからの移民を増やすために英語教育を完全に廃止している。

問4 南アメリカ大陸を西から東へと横断した際の地形の断面的な特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 香川公立入試 類似）

年 香川公立入試 類似）

- 大陸の西端に標高3,000メートルを超える険しい山脈が連なり、そこから東に向かって標高が低くなり、広大な平原や台地が広がっている。
- 大陸の東端に険しい高山地帯が位置し、西に進むにつれて標高が下がり、太平洋沿岸には大規模な平野が形成されている。
- 大陸の中央部に最も高い山脈が南北に走り、その東西両側に向かってなだらかに標高が低くなる形状をしている。
- 大陸全体が安定陸塊から成るほぼ平坦な地形で構成されており、西から東まで標高の変化がほとんど見られない。

問5 ブラジルでは、広大な熱帯林が減少していることが深刻な環境問題となっています。この森林破壊が進んでいる主な背景として、適切な説明はどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

- 経済発展を目的として、地下資源の鉱山開発や、大規模な牧場・農地の造成を行っているため。
- 自然環境を保護するために、外資系企業の参入を禁止し、伝統的な小規模農業を推奨しているため。
- 二酸化炭素の吸収量を増やす目的で、古い熱帯林を伐採して新しい苗木を植える「植林活動」を国全体で推進しているため。
- 沿岸部の人口をすべて内陸部に移住させるため、アマゾン全域を住宅地として整備しているため。

問6 地球温暖化にともなう海面上昇のメカニズムと、その影響に関する説明として正しいものはどれですか。（2025年 北海道公立入試 類似）

- 海水の膨張や氷河の融解により海面が上がり、低地の水没を招く
- 過度な地下水のみ上げにより地盤が下がり、相対的に海面が上がる
- 熱帯林での森林破壊が進むことで、海水の蒸発量が増えて海面が上がる
- オゾン層の破壊により直接海面が加熱され、海水の密度が高まる

問7 南アメリカ大陸のアルゼンチン、ペルー、チリなどの多くの国々において、ヨーロッパの言語であるスペイン語が公用語として広く普及している歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- 大航海時代以降、長期間にわたってスペインによる植民地支配を受けたため
- 19世紀の独立運動において、スペインが軍事的な支援を各国の独立勢力に提供したため
- 多様な民族が共生するために、中立的な言語としてヨーロッパ諸国から公用語を公募したため
- 北米との経済的な結びつきを強めるために、スペイン語を共通のビジネス言語として採用したため

問8 オセアニアに位置し、北島と南島の二つの主要な島からなるニュージーランドにおいて、古くからこの地に居住し、近年その独自の言語や文化が社会的に尊重されている先住民族の名称として正しいものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

- マオリ
- アイヌ
- アボリジニ
- イヌイット

答え合わせ・解説

問1	答え 1 かつて9割近くを占めていたヨーロッパ州からの割合が低下し、アジア州からの割合が最大となった。	オーストラリアでは1961年時点で移民の89.7%をヨーロッパ州出身者が占めていましたが、2016年には34.4%まで低下しました。代わってアジア州からの移民が大きく増加し、2016年には43.9%に達して最大の出身地域となっています。これは、かつての白豪主義から多文化主義へと政策が転換され、地理的に近いアジア諸国との結びつきが強まったことを示しています。
問2	答え 1 放牧	アンデス山脈の高地は標高が高く、耕地として利用することが難しいため、家畜を移動させながら飼育する放牧が盛んです。アルパカはこのような厳しい自然環境に適応しており、現地の生活を支える重要な家畜として古くから飼育されてきました。
問3	答え 1 先住民アボリジニの先住権（土地所有権）を認めるとともに、学校教育では日本語や中国語などの外国語学習を推奨している。	オーストラリア政府は過去の同化政策を反省し、1990年代以降、先住民アボリジニの土地に対する権利（先住権）を正式に認めるようになりました。また、地理的に近いアジア諸国との関係を重視し、多文化理解の一環として、学校で日本語や中国語といった近隣諸国の言語を学ぶことが奨励されています。これにより、多様な背景を持つ人々が共存できる環境づくりが進められています。
問4	答え 1 大陸の西端に標高3,000メートルを超える険しい山脈が連なり、そこから東に向かって標高が低くなり、広大な平原や台地が広がっている。	南アメリカ大陸の西側には、環太平洋造山帯の一部であるアンデス山脈が南北に走っています。この山脈は標高が高く、断面図で見ると大陸の西の端が極端に突出した形状になります。一方で、山脈の東側にはアマゾン川流域の低地（アマゾン盆地）やブラジル高原などが広がっており、全体として「西が高く、東が低い」という地形的な特徴を持っています。
問5	答え 1 経済発展を目的として、地下資源の鉱山開発や、大規模な牧場・農地の造成を行っているため。	ブラジルでは、かつてのコーヒーなどの特定の作物に頼る「モノカルチャー経済」から脱却し、工業化や経済発展を目指しています。その過程で、アマゾン川流域などの熱帯林を切り開き、鉄鉱石などの鉱山開発や、輸出用の牛肉を生産するための牧場、大豆などを栽培する農地を拡大させていることが森林減少の直接的な原因となっています。
問6	答え 1 海水の膨張や氷河の融解により海面が上がり、低地の水没を招く	地球温暖化は、単に氷が溶けるだけでなく、温度上昇による海水の体積膨張を招き、これが海面を押し上げる直接的な要因となります。地下水のくみ上げは「地盤沈下」の原因であり、森林破壊は温暖化を加速させる背景要因の一つですが、海面が上がる物理的な仕組みとは異なります。
問7	答え 1 大航海時代以降、長期間にわたってスペインによる植民地支配を受けたため	15世紀末の大航海時代以降、南アメリカの広範な地域はスペインの植民地となりました。支配国となったスペインの言語や宗教（カトリック）、文化が現地に持ち込まれ、定着した結果、独立後も多くの国々でスペイン語が公用語として引き継がれています。
問8	答え 1 マオリ	ニュージーランドの先住民はマオリであり、彼らはポリネシア系の人々です。かつてはイギリスによる植民地支配の影響で文化が制限された時期もありましたが、1970年代以降、マオリの言語や文化を保護・継承しようとする動きが強まりました。アボリジニはオーストラリア、アイヌは日本、イヌイットは北極圏周辺の先住民です。